



**CPT-11+Cet療法
を受けられる患者さんへ**

治療薬

イリノテカン注

- DNAトポイソメラーゼⅠの阻害によりDNA合成を阻害することで、がん細胞の増殖を抑えます。

アービタックス注（セツキシマブ）

- がん細胞の増殖に関連する因子（EGFR：上皮細胞増殖因子受容体）を阻害することにより、がん細胞の増殖や分化を抑えます。

治療スケジュール

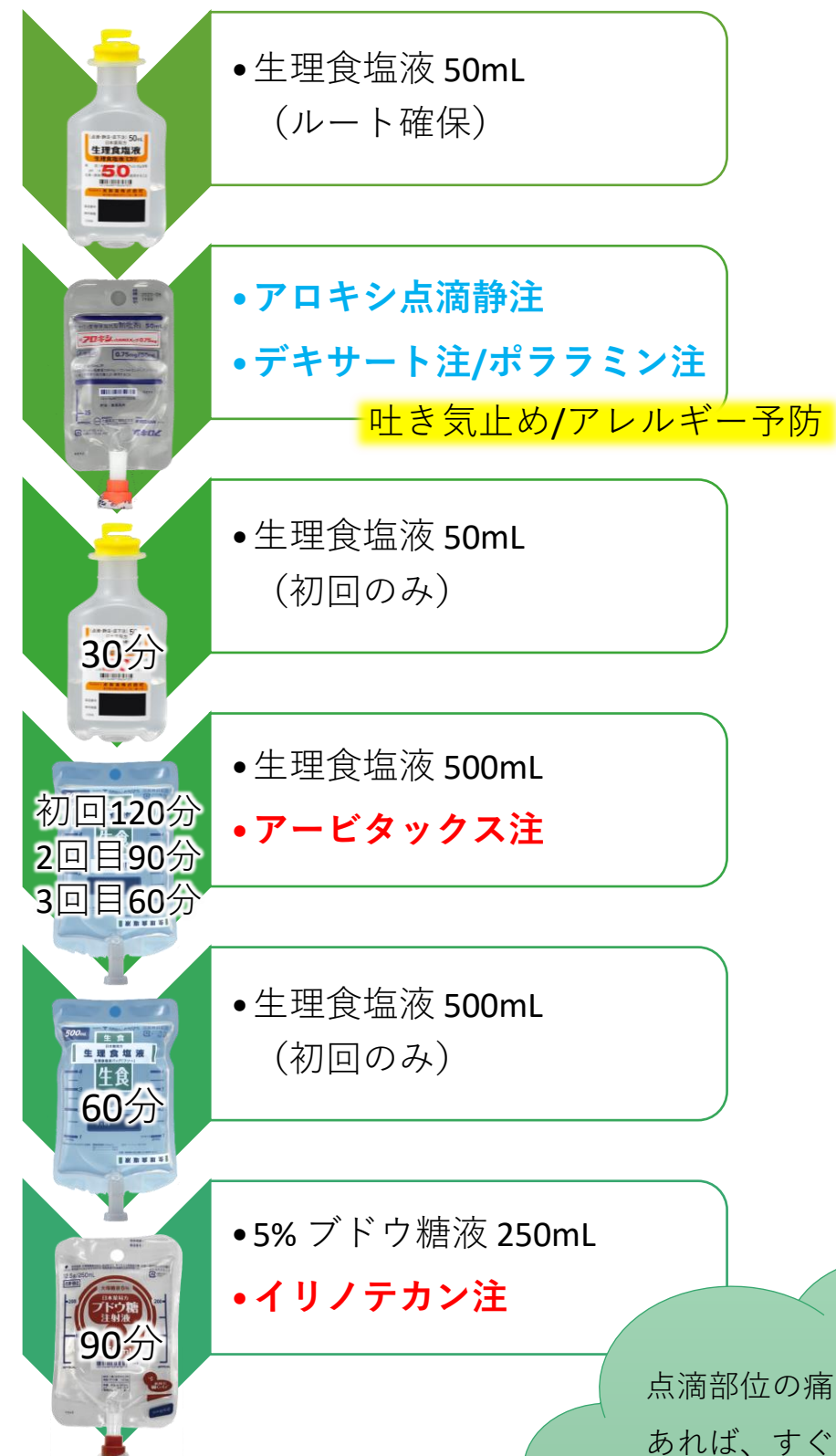
薬 \ 日にち	day1	day8	day15	day22
イリノテカン注	●		●	
アービタックス注（セツキシマブ）	●		●	

2週間毎

内服薬

	用法・用量	効果	day1	day2	day3
アプレピタントカプセル125mg	抗がん剤投与1時間前	吐き気止め			
アプレピタントカプセル80mg	1日1C朝食後	吐き気止め			
デカドロン錠4mg	1日1錠朝食後	吐き気止め			

点滴スケジュール



点滴部位の痛みや腫れ、点滴が落ちにくい等
あれば、すぐにナースコールしてください。
点滴の時間はおおよその時間です。
多少前後する場合があります。

◆ 下痢

点滴してから**24時間以内に現れる下痢**と、**数日～2週間後に遅れて現れる下痢**があります。症状が続くと脱水症状になる場合がありますので、こまめな水分補給を心がけましょう。乳酸菌食品（乳酸菌飲料やヨーグルト）などは下痢を悪化させることがあるので避けましょう。

◆ 主な症状

- 排便回数が増加した
- 固形・泥状でない水様便である
- 周期的な腹痛がある
- 夜間にも排便が続く



◆ 下痢が起こった場合の注意点

- ✓ 軽い下痢の場合でも、脱水症状を防ぐために水やお茶、スポーツドリンクなどの水分をこまめに取りましょう
- ✓ 冷たい飲み物は避け、室温に戻してから飲みましょう
- ✓ 下腹部を暖かくして安静に過ごしましょう
- ✓ おかゆや麺類など消化の良いものを食べるようにしましょう
- ✓ お腹を刺激しやすい揚げ物やスパイスの効いたもの、炭酸飲料は避けましょう

→下痢止めや整腸剤が処方されている場合は、服用して様子を見てください。

下痢止め		整腸剤	
ロペラミド錠1mg (ロペミン)		ミヤBM錠 ビオフェルミン	
1回1C（6時間以上あけて）		1回1～2錠(包) 毎食後（自己調節）	

アービタックス注（セツキシマブ）

◆ はたらき

アービタックス（セツキシマブ）は、がん細胞にあるEGFRを抑えてがん細胞が増えるスイッチを止めることで、がん細胞の増殖を抑えます。

EGFR(上皮細胞増殖因子受容体)：

細胞の表面に並んでいるタンパク質で、細胞が増える時のスイッチの役割を担っています。がん細胞には非常に多くのEGFRがあり、がん細胞が増えるような信号を送り続けています。

◆ 主な副作用

✓ アレルギー反応（Infusion reaction）

薬剤投与中または投与後数時間で息苦しい、汗が出る、顔がほてる、胸が痛い、心臓がドキドキするといった症状が現れることがあります。症状を感じた場合はすぐに医療スタッフに連絡してください。

● 注意すべき症状



◆ 主な副作用

✓ 皮膚症状（ニキビのような発疹、皮膚乾燥、かゆみ等）

皮膚の細胞のEGFRも抑えるために、にきびのような発疹、皮膚の乾燥・炎症などが起こることがあります。

投与1週間後から症状が発現し、特に顔や胸、背中、腕に症状が出やすいと言われています。日頃からスキンケアや症状に応じた薬で対応しながら治療を続けていきます。

✓ 間質性肺炎

空咳、息苦しさ、息切れ、発熱等の風邪のような症状が出たときは、すぐに医師に連絡してください。

自己判断で市販の風邪薬等を服用しないでください。

✓ 下痢

治療中に下痢が起こることがあります。下痢による脱水症状を防ぐため、十分な水分補給を行いましょう。

✓ 粘膜炎（口内炎）

口の中・歯肉・咽頭がしみる、ヒリヒリする、赤くなるといった症状が出ることがあります。口の中を清潔に保つよう心がけましょう。

✓ 電解質異常

からだの中の電解質のバランスが崩れることで低マグネシウム血症が現れることがあります。定期的に血液検査で確認します。

起こる頻度の高い副作用

➤ 骨髄抑制（白血球、ヘモグロビン、血小板減少）

血液中の細胞成分は白血球・赤血球・血小板の3種類で、骨髄で造られ、化学療法の副作用により骨髄の機能が低下し減少します。

白血球、血小板は7～14日目で最も減少します。

白血球 (好中球：NEUT)

白血球（好中球）は細菌から体を守る働きをしていますので、白血球が低くなると体の抵抗力が弱くなり、感染症を起こしやすくなります。

マスクをしたり、手洗いやうがいをして感染を予防しましょう。

赤血球 (ヘモグロビン： Hb)

赤血球の中のヘモグロビンは酸素を体中に運ぶ役割をしており、減少すると貧血症状（動悸、めまい、息切れ、頭痛、倦怠感、立ちくらみ等）が現れます。

ヘモグロビンがかなり下がると赤血球輸血することがあります。

血小板（PLT）

血小板には血を止める働きがあります。血小板が5万より減少すると出血（血が止まりにくい、鼻血が出やすい、青あざができやすい）しやすくなります。

血小板がかなり下がると血小板輸血することがあります。

起こる頻度の高い副作用

➤ 吐き気（悪心）・嘔吐、食欲不振

消化管（口・胃・腸）の粘膜や脳の中樞を刺激することによって起こります。数時間後に始まることが多いようですが、人によっては数日間続く場合もあります。つらい時は我慢せず、早めに言いましょう。吐き気止めとして処方された薬があれば服用して様子を見てください。

吐き気止め

メトクロプラミド錠5mg
（プリンペラン）



1回1錠（6時間以上あけて）

ロラゼパム錠0.5mg
（ワイパックス）



1回1錠（6時間以上あけて）

➤ 便秘

便秘になることがあります。下剤等を服用して調節してください。

下剤

酸化マグネシウム錠330mg
（マグミット）



1回1～2錠 毎食後（自己調節）

センナエキス錠80mg
（ヨーデル）



1回1～2錠 寝る前

➤ 口内炎

口の中・歯肉・咽頭がしみる、ヒリヒリする、赤くなるといった症状が出る場合があります。口の中を清潔に保つよう心がけましょう。

➤ 脱毛

薬によって髪が抜けるものと抜けないものがあります。また、髪の抜け方にも個人差があります。治療後2～3週間後あたりから毛が抜け始め、髪以外の部分（体毛・眉毛・陰毛）でも起こります。治療が終了して6～8週間後には毛が生え始め、約半年でほぼ回復します。

注意が必要な副作用

➤ アレルギー反応

薬に対する過敏反応が起きることがあります。点滴中に下記の症状があったらすぐに医療スタッフにお伝えください。

- ・ 息苦しい
- ・ 胸が痛い
- ・ 心臓がドキドキする
- ・ 顔がほてる
- ・ 汗が出る
- ・ 発疹が出る

➤ 血管炎・静脈炎

血管痛が起こることがあります。また、注射液が血管の外に漏れてしまうと注射部位が硬くなったり、腫れて痛みを生じることがあります。痛みを感じたらすぐに医療スタッフにお伝えください。

➤ 間質性肺炎

空咳、息苦しさ、息切れ、発熱等の風邪のような症状が出たときは、すぐに医師に連絡してください。

自己判断で市販の風邪薬等を服用しないでください。



その他の副作用

➤ 疲労感・倦怠感（だるさ）

点滴後に疲労感やだるさが生じることがあります。

➤ 発疹

皮膚が赤くなったり、かゆみを伴うこともあります。放置せず早めに伝えてください。

➤ 腎障害

膀胱や腎臓に影響を与える場合があります。

➤ 肝障害

肝臓に影響を与えることがあります。

➤ 味覚・嗅覚の変化

治療によって味覚と嗅覚が変化してしまい、食べ物が苦く嫌な味がしたり、塩味に鈍感になったり、匂いが鼻について食欲が低下したりすることがあります。

➤ 聴覚（聴力）障害

聴こえにくくなったり、耳鳴りが起こったりすることがあります。

その他の副作用

➤ しゃっくり（吃逆） ※アプレピタント併用時のみ

アプレピタントカプセル（吐き気止め）によって起こることがあります。比較的男性によくみられます。

下記の薬が処方されていれば服用して様子を見てください。

しゃっくり止め			
メトクロプラミド錠5mg （プリンペラン）		バクロフェン錠5mg （リオレサール）	
1回1錠（6時間以上あけて）		1回1錠（6時間以上あけて）	

上記のような副作用が主に挙げられますが、必ずこれらの副作用が起こるわけではなく、人によって個人差があります。

副作用を抑える薬もありますので、気になることがあれば何でも伝えてください。





MEMO

[illegible]



MEMO

[illegible]

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



大阪国際がんセンター

〒541-8567

大阪府大阪市中央区大手前3-1-69

☎06-6945-1181

The background of the page is a large, abstract graphic consisting of several thick, flowing, and overlapping curved lines. These lines are primarily green and yellow, with a gradient effect that transitions from a bright yellow-green in the center to a deeper green towards the edges. The lines swirl in a clockwise direction, creating a sense of movement and energy. The overall shape is roughly circular but with fluid, organic edges.

Osaka International Cancer Institute